

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-146
研究課題名	日本インターベンショナルラジオロジー学会における、症例登録データベース事業
研究期間	西暦 2013 年 7 月（倫理委員会承認後）～西暦 2018 年 6 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（血管造影データ）
上記材料の採取期間	西暦 2013 年 7 月～西暦 2018 年 6 月
意義、目的	インターベンショナルラジオロジー（「放射線診断技術の治療的応用」または「血管内治療」。以下 IVR。詳細は添付 PDF「IVR とは」参照）は低侵襲な治療として、その評価は高く、すでに根治性を有する標準治療法として定着しつつある。とくに患者の QOL の維持、入院期間の短縮など医療経済にも寄与していると考えられているが、その実態を十分に把握できていないのが現状である。現在、IVR 学会では「IVR 症例 Web 登録」として、学会員の実施した IVR 症例を、インターネットを介してデータベースに登録して、現状の把握に利用しているが、その内容は詳細な解析には不十分と言わざるを得ない。本事業の目的は IVR の症例情報を集計・登録することにより、我が国における IVR 診療の現状を明らかにすることにある。さらに、会員個人、修練施設における登録を分析して、IVR 専門医の育成、修練施設の増加など、今後の IVR 診療の進歩・普及を図ることを目的とする。また、このデータは、統計的な考察を加えて適時公開する計画であり、IVR 診療の基礎と臨床の多くの研究に貢献すると考えられる。この事業は、現在の我が国の IVR 診療の現状を浮き彫りにし、基礎と臨床の種々の研究にも貢献するものと考えられる。
方法	当院の放射線診断科にて施行した血管造影の技術を用いて行う、がんや出血の塞栓術、血管拡張術、経皮的ラジオ波焼灼術、骨セメント注入術等の IVR 治療全症例を登録する。 原則として IVR 学会会員が日本国内で実施した IVR 手技全症例を対象とする。対象症例に関する情報をインターネット経由で IVR 学会症例登録データベースに登録を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院 放射線科医局 高瀬 圭 TEL: 022-717-7312 / FAX: 022-717-7316